

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 23 日

福岡県知事 殿

提出者

福岡県直方市大字上境40番地の1

住 所

九州住友ペークライト株式会社

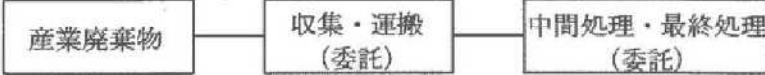
氏 名

電話番号 0949-23-1911

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	九州住友ペークライト株式会社
事業場の所在地	福岡県直方市大字上境40番地の1
計画期間	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	E. 製造業
② 事業の規模	2024年度 売上高131億3780万円
③ 従業員数	227人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油
	排出量	777.930 t	617.620 t
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず
	排出量	48.651 t	28.410 t
	産業廃棄物の種類	木くず	廃酸・廃アルカリ
	排出量	2.200 t	0.336 t
	産業廃棄物の種類	蛍光管	乾電池
	排出量	0.030 t	0.030 t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工程異常、検査異常削減による廃棄ロスの削減</li> <li>・ 設備対策を含めた生産性向上による廃棄ロスの削減</li> <li>・ 生産条件、連続生産性により歩留向上による廃棄ロスの削減</li> </ul>			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油
	排出量	735.000 t	583.000 t
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず
	排出量	46.000 t	27.000 t
	産業廃棄物の種類	木くず	廃酸・廃アルカリ
	排出量	2.000 t	0.300 t
	産業廃棄物の種類	蛍光管	乾電池
	排出量	0.025 t	0.025 t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工程異常、検査異常削減による廃棄ロスの削減</li> <li>・ 設備対策を含めた生産性向上による廃棄ロスの削減</li> <li>・ 生産条件、連続生産性により歩留向上による廃棄ロスの削減</li> </ul>			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の種類を明確にして、保管場所を設置し 分別管理を適切に実施している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	廃酸・廃アルカリ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	蛍光管	乾電池
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	廃酸・廃アルカリ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	蛍光管	乾電池
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】				
①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	木くず	廃酸・廃アルカリ	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	蛍光管	乾電池	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			
	②計画	【目標】		
産業廃棄物の種類		廃プラスチック類	廃油	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t	
産業廃棄物の種類		汚泥	金属くず	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t	
産業廃棄物の種類		木くず	廃酸・廃アルカリ	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t	
産業廃棄物の種類		蛍光管	乾電池	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t	
産業廃棄物の種類				
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t	
産業廃棄物の種類				
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t	
(今後実施する予定の取組)				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（ 6年度）実績】				
①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	木くず	廃酸・廃アルカリ	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	蛍光管	乾電池	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			
【目標】				
②計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	木くず	廃酸・廃アルカリ	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	蛍光管	乾電池	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

【前年度 ( 6年度) 実績】			
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油	
全 処 理 委 託 量	777.930 t	617.620	t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	777.930 t	617.620	t
再生利用業者への 再 処 理 委 託 量	t		t
認定熱回収業者への 認 定 熱 回 収 委 託 量	t		t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 認 定 熱 回 収 委 託 量	t		t
産 業 廃 棄 物 の 種 類	汚 泥	金 属 く ず	
全 処 理 委 託 量	48.651 t	28.410	t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	48.651 t	28.410	t
再生利用業者への 再 処 理 委 託 量	t		t
認定熱回収業者への 認 定 熱 回 収 委 託 量	t		t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 認 定 熱 回 収 委 託 量	t		t
(これまでに実施した取組)			
【目標】			
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油	
全 処 理 委 託 量	735.000 t	583.000	t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	735.000 t	583.000	t
再生利用業者への 再 処 理 委 託 量	t		t
認定熱回収業者への 認 定 熱 回 収 委 託 量	t		t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 認 定 熱 回 収 委 託 量	t		t
産 業 廃 棄 物 の 種 類	汚 泥	金 属 く ず	
全 処 理 委 託 量	46.000 t	27.000	t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	46.000 t	27.000	t
再生利用業者への 再 処 理 委 託 量	t		t
認定熱回収業者への 認 定 熱 回 収 委 託 量	t		t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 認 定 熱 回 収 委 託 量	t		t
(今後実施する予定の取組)			

①現状

②計画

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 2枚目 (5品目目から8品目目)

【前年度 ( 6 年度) 実績】			
産業廃棄物の種類		木くず	廃酸・廃アルカリ
①現状	全 処 理 委 託 量	2.200 t	0.336 t
	優良認定処理業者への委託量	2.200 t	0.336 t
	再生利用業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	蛍光管	乾電池
	全 処 理 委 託 量	0.030 t	0.030 t
	優良認定処理業者への委託量	0.030 t	0.030 t
	再生利用業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
【目標】			
産業廃棄物の種類		木くず	廃酸・廃アルカリ
②計画	全 処 理 委 託 量	2.000 t	0.300 t
	優良認定処理業者への委託量	2.000 t	0.300 t
	再生利用業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	蛍光管	乾電池
	全 処 理 委 託 量	0.025 t	0.025 t
	優良認定処理業者への委託量	0.025 t	0.025 t
	再生利用業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 3枚目 (9品目目から12品目目)

①現状	【前年度 ( 6年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	②計画	【目標】	
産業廃棄物の種類			
全 処 理 委 託 量		t	t
優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量		t	t
再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量		t	t
認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量		t	t
認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量		t	t
産 業 廃 棄 物 の 種 類			
全 処 理 委 託 量		t	t
優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量		t	t
再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量		t	t
認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量		t	t
認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量		t	t
(今後実施する予定の取組)			